街歩ook田原

第17号

- 七タイベント「星に願いを」
- 盆踊りの歴史を振り返る
- ふたば屋輪店

平成25年7月16日㊋

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原
所在地 / 愛知県田原市田原町萱町 1
TEL/ 0531-24-2345　URL / http://www.tahara-tmo.com/

●写真：七タイベント『星に願いを』
▲山田理紗子ちゃん〔築出〕

みんなの願いが叶うといいね
七タイベント『星に願いを』

6月30日（日）、中央広場でまちなか賑わいづくり実行委員会主催の七タイベント『星に願いを』が開催されました。

これは、短冊に願い事を書いて笹に飾り、星にその願いが叶うように祈るという日本の伝統行事を体験してもらおうというイベントです。親子連れなど約600名の方が参加され、用意された60本の笹には、願い事が書かれた短冊が飾り付けられました。また、願いが実現するようにと、田原神明社の宮司さんによるご祈祷が行われました。

飾り付けられた笹は、中央広場の周りの商店、はなとき通りやセントファーレに飾られ、街なかに彩りを添えていました。

街なかに賑わいを！

これまで、まちなか賑わいづくり実行委員会により、毎年さまざまなイベントが開催されてきました。主なものは、4月のこいのぼり、7月の七夕、10月の市民音楽祭、12月のイルミネーション・クリスマス、そして2月の菜の花イベントです。街なかの季節感を演出し、子どもたちに季節行事を楽しんでもらおうと実施しています。

この実行委員会は、平成17年8月に発足した「街なかに賑わいを創り出し、街を活性化させるという思いを共にする有志の集まり」です。参加制限はなく、〝街なかに賑わいを創ろう〟という気持ちがあれば、どなたでも参加することができます。

実行委員会は、これからもイベントなどを通して、街なかを賑やかにしていく予定です。

※少しでもお手伝いいただける方は、あつまるタウン田原へご連絡をお願いします。

●イベントの詳細はフェイスブックでもご覧いただけます。

株式会社あつまるタウン田原
https://www.facebook.com/

▲杉岡侑樹くん〔東赤石〕

▲山内眞那ちゃん（左）、眞衣ちゃん（右）〔光崎〕

盆踊りの歴史～地域の絆づくり～

もうすぐお盆の季節を迎えます。
今回は、お盆の行事「盆踊り」について歴史から紐といてみましょう。

●昭和 50 年代の盆踊りの様子
写真提供：鈴木康仁さん（巴江）
協力：尾澤義雄さん（新町）

全国的にみた盆踊りの歴史

盆踊りは、元々は仏教行事で、平安時代、空也上人によって始められた念仏踊りが、亡くなられた人を供養するための行事として定着していったといわれています。

鎌倉時代には一遍上人が全国に広め、念仏で救済される喜びに激しく踊り、庶民を巻き込む大ブームを巻き起こしました。また、室町時代の初めには、太鼓などを叩いて踊るようになり、現在の盆踊りに近い形になりました。

鎌倉時代以降は、経済力や自治力を得た民衆により斬新な趣向が次々に考案され、江戸時代初めに絶頂を極めたことが知られています。

田原地区の盆踊り

田原では、盆踊りは盆行事の一つとして、8月13日から16日にかけて開催されていました。寺の境内や町内の広場などで櫓（やぐら）を中心に輪になり、老若男女が、簡単な振り付けで歌いながら踊っていました。

初めは、太鼓や笛で音頭をとったものでしたが、後には音頭が口説歌を唄い、踊手が囃子（はやし）言葉を入れることが流行していきました。踊りの振りは、何人でも行進しながら踊ることができる簡単なものであったといわれています。

昭和40年から盆踊り大会が蔵王山で始まり、開催会場は田原中部小学校、総合体育館広場と変遷していきました。20年以上にわたり続けられ、青年団や婦人会などがまとめ役となり、多くの方がこぞって参加し楽しんだそうです。その後、後継者問題などで一旦中断された地区が多く見られましたが、最近ではいくつかの地区で復活しています。街の賑わいづくりのために、街なかでも開催されるといいですね。

●昭和 40 年代の盆踊りの様子（蔵王山展望台）
「田原町観光協会の歩み」から転載

浜ちゃんの踊りにかける思い

30年以上にわたり踊りの指導者として田原市民に親しまれている冨田幸枝さんに、盆踊りへの思いについてお聞きしました。

萱町で飲食店を営みながら、50年以上暮らしている冨田さん。母親が踊りの先生をしていたので、地元だけでなく、市外にもたびたび連れて行ってもらい、小さなころから踊りを楽しんでいたそうです。

転機は38歳のとき。日本民謡舞踊連盟に所属し、本格的に踊りの指導をするようになったことです。踊りの指導を通して、人とのつながりが生まれ、何十年にもわたり踊りの指導者として活躍することになったのでした。

冨田さんに長い間、踊りの指導を続けてこられた理由を伺うと、「好きだからこそ」と即答されました。現在も、田原市内の多くの地域に指導に行っています。福江地区や神戸地区などで一度消滅した盆踊りが復活していることを目にして、萱町や本町、新町、巴江でも盆踊りが復活することを切望しています。

中心市街地に住んでいる方々に、直接声掛けもしているそうです。「盆踊りは、街なかを賑やかにすると思います。田原の中心で盆踊りが復活するまで、指導者として頑張っていきます」と力強く語ってくださいました。

▲お気に入りの浴衣を着て、踊りのポーズをとる冨田さん。愛称は浜ちゃん。

《街なか情報ピックアップ》 … 街のホットな話題をご紹介♪ …

■幸せの四つ葉のクローバーでまちおこし

あつまるタウン田原では、平成 26 年度の蔵王山展望台リニューアルに先立ち、蔵王山を核とする「幸せの四つ葉プロジェクト」を企画いたしました。これは、新たな観光資源と障がい者の雇用創出、中心市街地の活性化を目的としたもので、「田原授産所」「田原区」「あつまるタウン田原」「田原市」が協働で進めています。

第一弾として、田原授産所製造「蔵王山愛染明王の幸せお守り」「は～と絵馬」を、7月 17 日の午後 3 時から、蔵王山展望台で販売を開始します。
※詳しくは、ホームページをご覧ください。

あつまるタウン田原ホームページ
URL http://www.tahara-tmo.com/

■田原蔵王山麓芋焼酎『亀若』が大好評

田原市藤七原にある渥美半島唯一のお酒の神様“松尾社”。平成 24 年、この役員の方々や、藤七原亀若地区、田原区の有志数十人が「亀若倶楽部」を立ち上げ、地域おこしの焼酎『亀若』作りが始まりました。

芋の選定は、さまざまな種類の芋を原料とした焼酎の利き酒会を開催し、「紅あずま」に決定。今年も蔵王山麓の畑に植え付け作業が行われました。

芋の収穫は 10 月中旬。収穫後すぐに仕込みに入り、半年熟成させることで、まろやかな味わいになるそうです。大好評のため、今では入手困難の幻の焼酎となりましたが、来年 5 月ごろには販売が予定されていますのでお楽しみに。

●『亀若』を持つ藤城正行田原区長

平成25年7月16日号 街歩OOK田原

▲創業昭和４年のふたば屋輪店３代目の杉田公一さんにお話を伺いました。

machicco

File No.13

田原の企業・お店で活躍されている方をご紹介します！

ふたば屋輪店 杉田 公一さん

●プロフィール

1958 年、田原町生まれ。学生時代は野球部に在籍し、高校卒業後消防士となり10 年間田原消防署にて勤務。その後、家業を継ぐ。

㊟田原市田原町東大浜 93
☎ 0531-22-0438
営 9:00-19:00
休 毎週水曜日 第３木曜日（5 ～ 12 月）

公務員から街の自転車屋さんへ

渥美線三河田原駅から、北に1分程歩いたところにある「ふたば屋輪店」。杉田さんは、生まれてからずっと田原に住んでいます。中学校、高校時代は野球部に所属し、県大会では優勝したのだとか。そして、高校卒業後は消防士となり、田原消防署で10年間勤務されました。

家業の自転車業を継ぐことになった29歳のとき、ちょうど第1回トライアスロン伊良湖大会が開催されました。これを機に、トライアスロン用自転車などスポーツ車を扱うことになり、本を読んだり専門店まで出かけて行って勉強したそうです。

やっぱり対面販売が基本

自転車ブームが到来し、サイクリングの普及や電動自転車の開発などもあり、客のニーズが多様化してきました。インターネットで商品やパーツを売る店舗も増えましたが、杉田さんは自転車を販売するときは対面販売が基本で、必ず乗られる方に直接会って自転車をお渡ししているそうです。サイズのチェックや用途の確認など、ただ販売するだけでなく、責任をもって販売することを心掛けているということです。

杉田さんは、自転車は販売するだけでなく、自転車点検などのアフターサービスが特に重要だと考えています。パンクの修理依頼のときでも、かごやベル、ブレーキ、ライトなども必ずチェックしてお渡ししているそうです。最近では、自転車による事故が新聞やテレビで報道されることがあります。自転車保険の契約と、マナー向上についても、地域で一声かけて安心安全な自転車ライフが送れる社会になることを願っています。

イベントを通して自転車を楽しもう

ふたば屋輪店では、田原市の素晴らしさを自転車で走って体感するさまざまなイベントも企画しています。今後は、蔵王山や衣笠山、藤尾山にマウンテンバイクで登るイベントなどで、市民の皆さんに自転車ライフを楽しんでもらいたいと考えています。

私は自転車技士の資格試験にむけて猛勉強中！（妻）

【次回のお知らせ】

次回は、ふたば屋輪店さんからバトンを受け取った「長栄軒 河合克之さん」をご紹介します。

皆さん、お楽しみに♪